

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成 31 年 4 月 18 日 (木) に実施した「令和元年度全国学力・学習状況調査」について阿見町の児童生徒の傾向をお知らせします。今年度より、従来の A B 区分がなくなり、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となっています。

- 調査の対象
小学校 6 年生 及び 中学校 3 年生
- 調査内容
小学校 国語 算数
中学校 国語 数学 英語

【調査結果】

上記調査内容 5 分野の平均正答率については、中学校国語で全国平均を若干上回っており、逆に中学校数学で全国平均を若干下回っております。小学校国語、算数及び中学校英語に関しては、全国平均とほぼ同様の正答率となっております。それぞれの分野の成果と課題は以下のとおりです。

【成果○と課題▲】

- 小学校 国語
- 目的に応じて本や文章全体を概観して効果的に読む。(読む能力)
 - 話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って自分の理解を確認するための質問をする。(話す・聞く能力)
 - ▲目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。(書く能力)
- 小学校 算数
- グラフから資料の特徴や傾向を読み取ることができる。(数量や図形についての技能)
 - 目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる。(数学的な考え方)
 - ▲示された図形の面積や計算の仕方を解釈し、その求め方の説明を記述することができる。(数学的な考え方)

- 中学校 国語 ○文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。(読む能力)
○伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く。(書く能力)
▲話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ。(話す・聞く能力)
- 中学校 数学 ○平行移動の意味を理解している。(数量や図形などについての知識・理解)
▲事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。(数学的な見方や考え方)
▲グラフ上の座標の差を事象に即して解釈することができる。(数学的な見方や考え方)
- 中学校 英語 ○語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる。(言語や文化についての知識・理解)
○教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる。(言語や文化についての知識・理解)
▲書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるように、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる。(外国語理解の能力)

【改善策・授業改善の視点】

- 国語
- ・自分の考えを的確に伝えるために、適切な語彙を選択したり、正確な表記や効果的な構成を意識したりして表現できるような指導を系統的に行う。
 - ・「話すこと・聞くこと」の学習で身に付けた力を他教科等の学習や日常生活において活用できるような授業を行う。
- 算数・数学
- ・図形と式とを関連付け、式や数の対象を明確にしたり、式の意味を説明したりすることができるような授業を展開する。
 - ・数学的な見方や考え方を活用して、数式が成り立つ理由を記述する活動を取り入れる。
- 英語
- ・聞き取った英文の内容についての答えを書いたり、自分の意見を表現したりする4技能統合型の言語活動の充実を図る。